



将来に
引き継ぎたい
奈良の自然

第4回



鹿博士

今回は、北山川の川岸で育つカワゼンゴを紹介するよ。
採取などは禁止されているので注意してね！

カワゼンゴ (セリ科・絶滅寸前種)

「川前胡」という名前は、中国の「前胡」という薬草に似ていて川岸に生えるところから名づけられたんだ。

川岸の岩の割れ目に根を下ろし、大雨で川の水が増えても流されないようしつかり岩にしがみついている。なぜかこんなに厳しい環境に生育しているよ。しかも、生える場所の大変限られた植物で、主に紀伊半島南部の奈良・三重・和歌山の3県にまたがる瀬八丁付近の北山川の川岸で見られるよ。

8月頃から大きくなり、1mほどになって秋には花が咲くんだ。だけど、近頃増えたニホンジカに食べられてしまうので、花が咲くまで育たず数が減ったんだ。ニホンジカが増えた理由は、降雪量の減少により越冬が容易になったことや狩猟者の減少などがあるんだよ。



秋に白い小さな花が、傘のほねのように放射状に出た柄の先にかたままって咲く



やや湿った岩の割れ目の、増水時には流水に洗われる環境に生育

奈良県自然環境課 ☎0742・27・8757 FAX 0742・22・7060 奈良の生きもの情報調査 検索



第3回

県民の家族のつながりは？
家族一緒に過ごす
機会の状況について
「奈良県民のくらしに関する調査」の結果から



1年の間で家族と一緒に過ごす機会が「十分取れた」「まあまあ取れた」という人は8割弱でしたが、「あまり取れなかった」「全然取れなかった」という人は約2割でした。機会が取れなかった理由として、「家族の仕事が忙しかった」が最も多く、次いで、個人の時間を尊重したためと答えています。

一方、内閣府の国民生活白書では、自分にとって一番大切なものを「家族」と答える人が年々増えている

※県民の生活の実態を明らかにするため、昨年10月に県内約1万世帯を対象に行った調査

奈良県統計課 ☎0742・27・8439 FAX 0742・27・0615

という調査結果も出ており、「家族のつながり」を求めている人は増えていると言えます。

先月から高齢者の所在不明が問題となりました。「家族」という一番基本となる人のつながりが、今問われているのではないのでしょうか？

家族一緒に過ごす機会があまり(または全然)取れなかった理由(複数回答)【県全体】

